

盛岡市総合計画実施計画

－ 令和 5 年度実績（戦略プロジェクト） －

目次

1 戦略プロジェクトの概要.....	1
資料の見方.....	2
重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト.....	3
■ 重点事業の実績.....	3
■ 指標の状況.....	8
■ 主な成果、課題、今後の取組.....	9
重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト.....	12
■ 重点事業の実績.....	12
■ 指標の状況.....	16
■ 主な成果、課題、今後の取組.....	17

1 戦略プロジェクトの概要

(1) 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

(2) 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

(3) 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

(4) 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

(5) 取組項目（令和5年度）

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト（2年目）

重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト（2年目）

資料の見方

戦略プロジェクトごとに主な取組内容を掲載しています。

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

(取組期間：令和5年度～令和6年度)

○ DX時代のしごとづくり

企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みました。また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援しました。

戦略プロジェクトを構成する重点事業ごとに計画額と実績額を掲載しています。

なお、実績額は令和5年度決算額＋翌年度繰越額の合算です。

取組の方向性	No.	重点事業名	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
D X	1	スマート農業導入促進事業	21	4,500	1,721	0
	2	商業振興事務 (中小企業者人材育成事業)	22	300	0	0

・ スマート農業導入促進事業

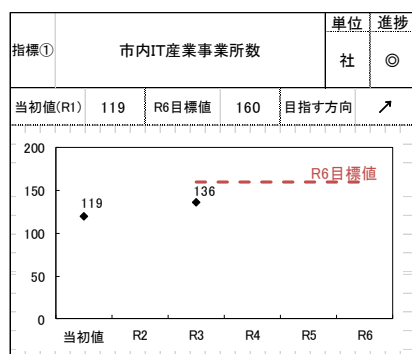
当初の想定に対し、対象者が少なかった（講習5名減、草刈機3台減）ことにより、実績額が小さくなりました。

計画額と実績額の乖離が大きい事業があった場合、要因を掲載しています。

進捗を客観的に測るために設定した指標の状況や分析結果を掲載しています。

・「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。

・「状況」欄の「☆」は目標値に到達、「◎」は目標値に向け順調に推移、「○」は目標値に向け推移、「△」は遅れが生じていることを表します



令和5年度の取組による主な成果と課題を掲載しています。

■ 主な成果、課題、今後の取組

・ DX時代のしごとづくり

(成果)

スタートアップ企業の支援も含めた新しい取組や東北第2位のIT企業集積があることを周知することで、立地に関心を示すIT関連企業が着実に増加しています。また、スマートシティ関連事業と

重点１ 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

（取組期間：令和５年度～令和６年度）

○ DX時代のしごとづくり

企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組みました。また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援しました。

○ 若者と地元産業をつなぐ

高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力を効果的に発信するとともに、インターンシップや企業研究会等により地元企業の認知度の向上や若者と地元企業の出会いの場を創出するほか、新社会人を対象としたコミュニケーションスキル研修などの実施による職場定着の支援に取り組みました。また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努めました。

○ 仕事と子育ての希望をかなえる

ICTを活用した働き方改革等、地元企業によるワーク・ライフ・バランスの取組を支援しました。また、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子どもの居場所づくりに取り組むほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援しました。

■ 重点事業の実績

（単位 千円）

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
DX時代のしごとづくり	1	スマート農業導入促進事業	21	4,500	1,721	0
	2	商業振興事務 （中小企業者人材育成事業）	22	300	0	0
	3	盛岡南地区物流拠点整備事業	22	84,450	55,620	45,546
	4	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	23	16,900	22,999	0
	5	スマートシティ関連事業	23	ゼロ予算事業		
	6	地域企業成長加速支援事業	23	11,000	5,420	0
	7	成長分野拠点形成支援事業	23	8,300	4,150	0

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
D X 時 代 の し ご と づ く り	8	工場新設拡充等事業	23	78,665	115,973	0
	9	盛岡広域企業誘致推進事業	23	814	814	0
	10	産業支援事業	23	1,199	561	0
	11	インキュベーション支援 (産業支援センター管理運営事業)	23	16,612	16,952	0
	12	インキュベーション支援 (産学官連携研究センター管理運営事業)	23	18,480	18,409	0
	13	インキュベーション支援 (新事業創出支援センター管理運営事業)	23	8,093	8,093	0
	14	起業家支援事業	23	100	100	0
	15	新産業等用地整備事業	23	570,974	228,387	29,766
若 者 と 地 元 産 業 を つ な ぐ	16	保育士確保対策事業 (保育士奨学金返還支援補助)	2	10,117	7,701	0
	17	保育士確保対策事業 (保育士宿舍借上げ支援事業補助)	2	77,284	52,157	0
	18	保育士確保対策事業 (若手保育士処遇改善事業補助)	2	6,165	5,274	0
	19	保育士確保対策事業 (保育体制強化事業)	2	18,000	17,963	0
	20	介護従事者確保事業 (介護職員奨学金返還支援事業)	3	9,415	9,775	0
	21	介護従事者確保事業 (介護の仕事魅力発信事業)	3	152	38	0
	22	移住・定住・交流人口対策事業 (移住・定住の促進)	14	23,301	53,780	0
	23	若者の就業支援事業 (高校生等地元就職フォローアップ事業)	19	1,437	1,413	0
	24	若者の就業支援事業 (新社会人就職定着支援事業)	19	1,975	1,975	0

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
若者と地元産業をつなぐ	25	若者の就業支援事業 (高校生インターンシップ事業)	19	53	41	0
	26	若者の就業支援事業 (高校生スキルアップ支援事業)	19	106	106	0
	27	若者の就業支援事業 (ジョブカフェいわて運営事業)	19	5,113	5,113	0
	28	食と農のバリューアップ推進事業 (6次産業化等スタートアップ支援事業)	21	4,058	3,247	0
	29	新規就農支援事業	21	57,135	28,934	0
	30	盛岡りんご担い手バックアップ事業 (りんご剪定作業担い手育成補助)	21	1,200	800	0
	31	林業労働対策事業 (森のしごと見学会)	21	1,100	1,320	0
	32	商業振興事務 (企業サポート専門員)	22	3,196	3,377	0
	33	盛岡テクノミュージアム設置事業	23	415	173	0
	34	工業振興事業 (企業サポート専門員)	23	3,422	3,504	0
	35	雇用対策推進事業 (新卒・若者就業支援事業)	25	1,380	1,326	0
	36	児童館整備事業 (（仮称）太田児童センター整備事業)	2	300,649	237,919	0
	37	児童館管理運営事業 (児童厚生員の適正配置)	2	29,261	26,962	0

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
仕事と子育ての 希望をかなえる	38	児童館管理運営事業 (児童センター利用時間延長)	2	299	299	0
	39	地域児童クラブ等運営事業 (放課後児童クラブ家賃補助の拡充)	2	4,702	3,149	0
	40	地域児童クラブ等運営事業 (余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業)	2	38,009	32,678	0
	41	私立児童福祉施設運営費助成事業 (医療的ケア児保育支援事業)	2	7,338	0	0
	42	子育て世代包括支援センター事業	2	10,108	9,866	0
	43	子ども家庭総合支援センター事業	2	19,499	19,898	0
	44	子ども未来基金事業	2	29,855	15,580	0
	45	子ども・子育て情報発信事業	2	660	660	0
	46	母子保健事業 (産後ケア事業)	2	2,025	4,735	0
	47	母子保健事業 (出産・子育て応援交付金等事業)	2	190,533	191,377	0
	48	不妊に悩む方への特定治療支援事業	2	2,082	1,880	0
	49	男女共同参画推進事務 (もりおか女性センター管理運営)	7	63,126	63,126	0
	50	男女共同参画意識啓発事業	7	344	259	0
	51	特別支援教育事業 (医療的ケア学校看護師の配置)	17	7,818	5,584	0
	52	雇用対策推進事業 (魅力ある職場づくり推進事業)	25	1,096	1,096	0

- ・ **スマート農業導入促進事業**

当初の想定に対し、対象者が少なかった（講習 5 名減、草刈機 3 台減）ことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **商業振興事業（中小企業人材育成支援事業）**

物価高騰の影響により、企業側で職員を派遣できる余裕がないことなどから、補助金の交付実績がありませんでした。

- ・ **盛岡南地区物流拠点整備事業**

西仙北北川線道路詳細設計業務の入札不調により、一部業務を令和 6 年度に繰り越したことから、実績額が小さくなりました。

- ・ **スマートシティ関連事業（ゼロ予算事業）**

盛岡未来技術地域実装協議会（マルチモノ盛岡推進協議会）の運営に係る事業のため、予算無しで実施している事業です。

- ・ **盛岡 AI・IoT プラットフォーム事業**

企業版ふるさと納税（2 社）の寄附受領に伴い、盛岡市まち・ひと・しごと創生基金に積み立てを行った（7,701 千円）ことにより、実績額が大きくなりました。

- ・ **地域企業成長加速支援事業**

充当を予定していたデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（補助率 1／2）が不採択となったことから、事業規模を縮小して実施したことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **成長分野拠点形成支援事業**

充当を予定していたデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（補助率 1／2）が不採択となったことから、事業費を減額し、実績額が小さくなりました。

- ・ **工場新設拡充等事業**

工場等新設拡充促進事業補助金について、過去 5 年度間の交付実績平均値により当初予算を計上していましたが、令和 4 年度に活発な固定資産投資が図られ、交付対象企業数が増加したことから、実績額が大きくなりました。

- ・ **産業支援事業**

公募による盛岡市産学共同研究支援事業等補助金への申請金額が、予算額に満たなかったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **新産業等用地整備事業（特別会計）**

第二事業区の大規模区画への変更に伴い、当初の想定通り基盤整備工事が進まず、工事請負費の支出実績が減額したことから、実績額が小さくなりました。

- ・ **保育士確保対策事業（保育士宿舎借上げ支援事業補助）**

令和 5 年度に申請のあった宿舎が、想定よりも少なかったことから、実績額が小さくなりました。

- ・ **介護従事者確保事業（介護の仕事魅力発信事業）**

年度中の出前講座の開催回数を 10 回と見込み、市内の小中学校及び高等学校に対し事業の周知を行いました。学校からの申込件数が 1 件となり、実績額が小さくなりました。

- ・ **移住・定住・交流人口対策事業（移住・定住の促進）**

当初の計画を上回る移住支援金の申請見込みに対して、補正予算を計上し対応したほか、市独自の支援金を創設したため、実績額が大きくなりました。

- ・ **新規就農支援事業**

当初の想定に対し、対象者が少なかった（経営開始資金 2 名減、経営発展支援事業 5 名減、親元就農給付金 1 名減）ことから、実績額が小さくなりました。

- ・ **盛岡りんご担い手バックアップ事業（りんご剪定作業担い手育成補助）**

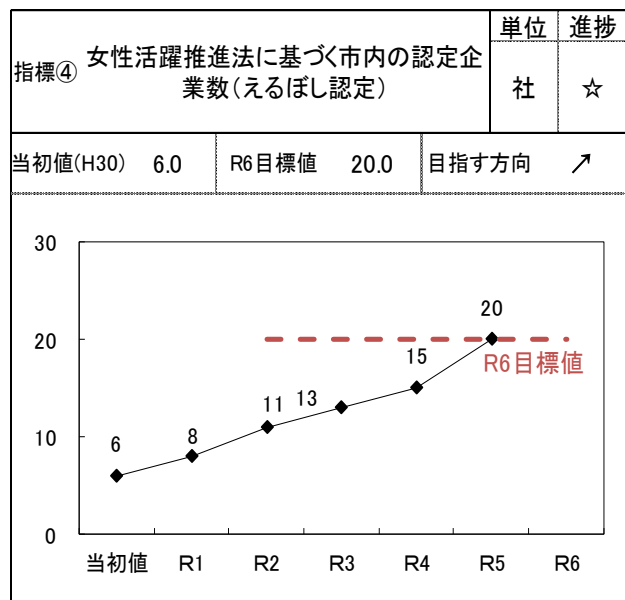
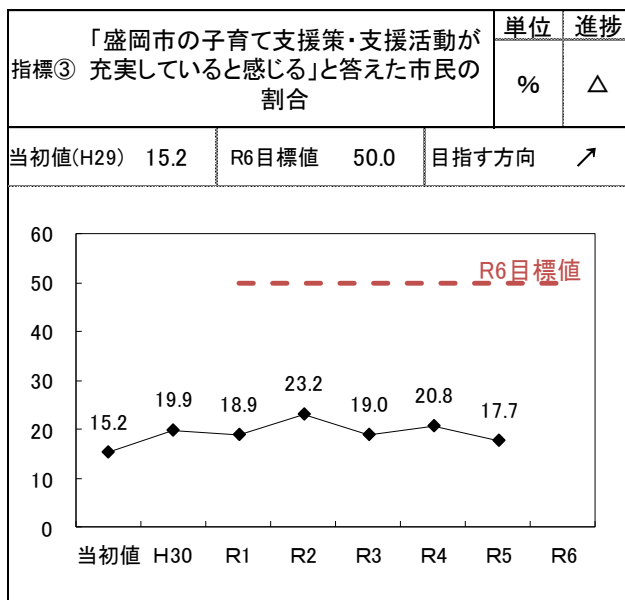
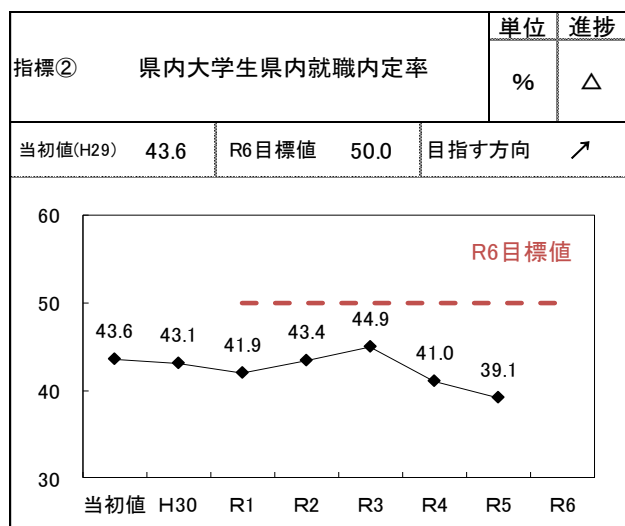
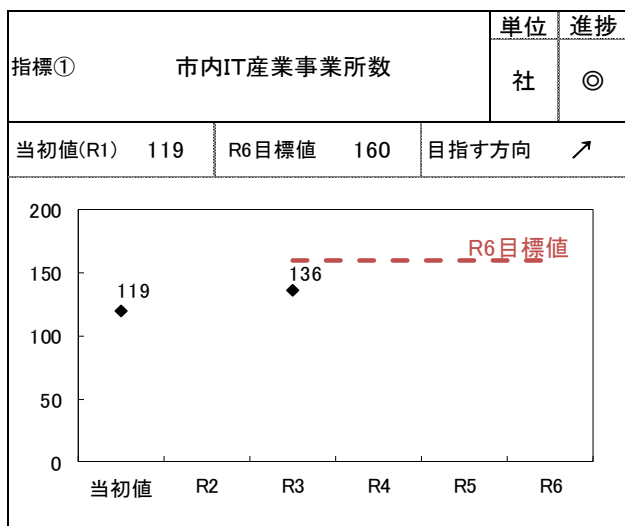
本事業は新規剪定作業員の作業従事代を 3 年間交付することができますが、令和 5 年度から新規

で行う対象者が想定より少なかったため、実績額が小さくなりました。

・ 盛岡テクノミュージアム設置事業

新型コロナウイルス感染症の影響が残り、新たに学生の見学を受け入れる事業者が少なく、補助申請が無かったため、実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況



目標値および実績値は平成 27 年度から累計

- ・ 市内IT産業事業所数／◎ 目標値に向け順調に推移

立地に関心を示すIT関連企業が増加しているものの、目標値到達には、更なる取組が必要です。伸び悩みの要因として、ステイタス性の高い魅力的なオフィスが不足していることが挙げられます。

- ・ 県内大学生県内就職内定率／△ 遅れが生じている

大学生の県内就職内定率は前年と比較して1.9ポイント減少し、過去10年で一番低い3割台に落ち込んでおり、県内大学生の県外流出の動きが加速している状況です。

- ・ 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／△ 目標値に向け推移

ここ数年は20%前後で推移しており、令和6年度の目標値50.0%とは大きな差がある状況となっています。

- ・ 女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数（えるぼし認定／☆ 目標値に到達）

認定を受ける市内事業所が着実に増えており、目標に到達しました。

■ 主な成果、課題、今後の取組

- ・ DX時代のしごとづくり

（成果）

スタートアップ企業の支援も含めた新しい取組や東北第2位のIT企業集積があることを周知することで、立地に関心を示すIT関連企業が着実に増加しています。また、スマートシティ関連事業として、令和4年11月に未来技術地域実装協議会を設立しており、継続して入会企業が増加している状況であり、当市を中心に活躍するIT産業事業所の増加につながりました。

（課題）

IT人材が不足している中で、首都圏のIT企業は人材確保が困難な状況であり、地方に拠点を設置しながら、人材採用を行う動きが活発化しています。また、本市は東京から2時間というアクセスの良さにより、地方進出の候補地となっているが、IT企業立地の受け皿となるステイタス性の高い魅力的なオフィスが不足しており、IT企業が集積する拠点の早期創出が必要です。

（今後の取組）

盛岡AI・IoTプラットフォーム事業として、これまで実施しているデジタルトランスフォーメーション塾やデジタルアイディアコンテストに加え、新たな取組として令和6年度からスパルタキャンプを実施しており、持続可能な魅力ある企業を成長させる取組を行っていきます。

また、第2期工業振興ビジョンに掲げる「IT企業集積拠点創出事業」について、庁内合意形成や整備手法の検討に早期に取り組んでいきます。

- ・ 若者と地元産業をつなぐ

（成果）

ジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生にきめ細やかな就職支援を行っており、市内企業における若者の人材確保・採用力向上に向けて、学生と市内企業をつなぐ取組や企業の働く場としての魅力向上を図る取組を複合的に実施するほか、学生へのカウンセリング等による就職支援を並行して実施しており、就労に関する相談支援を通じ、学生の県内就職に寄与しています。

（課題）

人手不足を背景に、首都圏をはじめとした県外企業の新卒採用意欲が高いことに加え、給与等の待遇面の格差を理由に、学生の県外志向の高まっていると思われます。また、大都市圏の企業と比較して市内企業の知名度が高くないため、大学卒業後のスキルを生かす場所がないと考え、県外に就職先を求めていることが考えられます。

理工系大卒者の県内就職率は2割を割り込んでおり、理工系人材が希望する県内企業の求人が少

ないことが考えられます。

（今後の取組）

県外大学等の学生のU I ターンを促進するため、雇用創出や創業支援に係る取組を行うほか、地元企業の働く場としての魅力向上を図ります。

大都市圏との待遇格差の解消に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指す取組を行います。

学生が希望する就職先確保のため、IT企業や製造業などの誘致を図るとともに、IT企業集積拠点の創出や立地可能な土地の確保を進めます。

学生向けに奨学金返還支援事業の周知を更に進め、市内事業所への補助対象者を増加させるほか、若者の起業を支援するための取組を行います。

・ 仕事と子育ての希望をかなえる

（成果）

太田児童センターが令和6年4月から利用できるようになり、市内の全小学校区へ児童センター整備が完了しました。

令和5年度は14の個人・団体が子ども未来基金を活用し、学習支援や居場所づくり、貧困対策等の子育て支援に繋がる事業を実施しました。

若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大を図り、保育士奨学金返還支援給付金により147名の保育士に、保育士宿舍借上げ支援事業により37事業者・延べ50施設に、若手保育士処遇改善支援事業により31事業者・延べ43施設に補助を行い、保育士確保につながったと考えられます。

医療的ケアを必要とする児童について、利用が円滑に行われるよう保育所等と調整し、保育を実施しました。

産後ケア事業について、国、県の補助金を活用し、利用料無料を継続していることに加え、電子申請を開始したことで産後ケア事業が利用しやすくなりました。

女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数が目標値に到達したことから、女性が能力を発揮しやすい職場環境整備が、優秀な人材の確保や企業イメージの向上など企業の成長につながるという認識が浸透しつつあります。

（課題）

令和6年3月に実施した子ども・子育てに関するアンケート調査では、「雨の日や冬場に遊べる場所がない」と答えた割合が76.5%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられます。

スマートフォンの活用等により、子育て世代が気軽に情報を取得でき、デジタル化による行政手続の利便性向上が求められています。

関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えている傾向があります。

産後ケア事業の利用者は年々増加しています。利用者のニーズに対して受け皿が不足しており、用待ち期間が生じているほか、従来の訪問型、デイサービス型産後ケアに加えて宿泊型の実施が求められています。

（今後の取組）

児童数が増加している盛南地区では、子育て支援のニーズが高まってきていることから、地域子育て支援拠点の開設を進めます。

子育て世代への市の子育て支援策・支援活動に関する情報発信については、スマートフォン等で利用できる「もりおか子育てアプリ」を積極的に活用し、利用者の拡大を図ります。また、保育士の確保に向けて、雇用環境の改善に取り組みます。

産後ケア事業の実施状況と課題について、委託先は実施回数増によりキャパシティを超えている状況のため、委託医療機関へ出向き調査を行い、課題の解決に向けて取り組みます。

女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数の向上については、人材育成セミナーなどの啓発事業を実施し、引き続き企業の取組を支援します。

重点２ 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト

（取組期間：令和５年度～令和６年度）

○ コロナからのV字回復

令和５年１月、米ニューヨーク・タイムズ紙（電子版）が発表した「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選ばれ、国内外に本市の魅力を発信する絶好の機会となっており、観光需要回復への期待が高まっていることから、好機を活かした更なる誘客促進や消費の拡大を図るため、東北六市や盛岡広域８市町と連携したプロモーション、MICE(マイス)の誘致等を推進しました。また、まつり・イベントの振興等により来訪者に盛岡らしいおもてなしを提供するほか、地域経済への波及効果が期待される高規格スポーツ施設を活用した誘客コンテンツの拡充・強化に取り組みました。

○ ポストコロナの交流・新展開

感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会を創出しました。また、SNSやオンラインを活用した交流のほか、デジタル技術等を活用し、市外の方が積極的に本市と関わりを持つ機運を醸成するための仕掛けづくりなど、関係人口や交流人口の創出・拡大に取り組みました。

○ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出

商店街等の活性化支援や地域の魅力をつなぐ結節点「ローカルハブ」をコンセプトとした盛岡バスセンターのにぎわい機能による周辺エリアの価値向上、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上、将来のまちづくりを見据えた内丸地区における一体的再整備のプラン構築に取り組みました。また、バスセンターと近接する地区の再開発による交流拠点の整備を促進するほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備に取り組みました。

■ 重点事業の実績

（単位 千円）

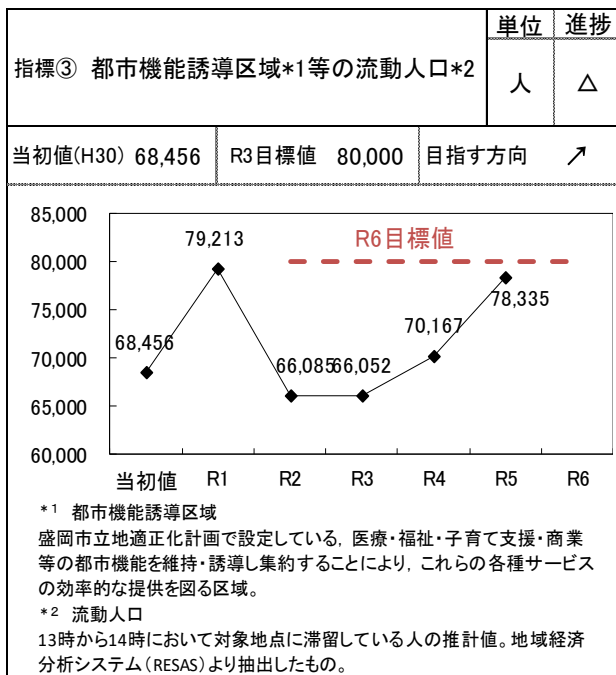
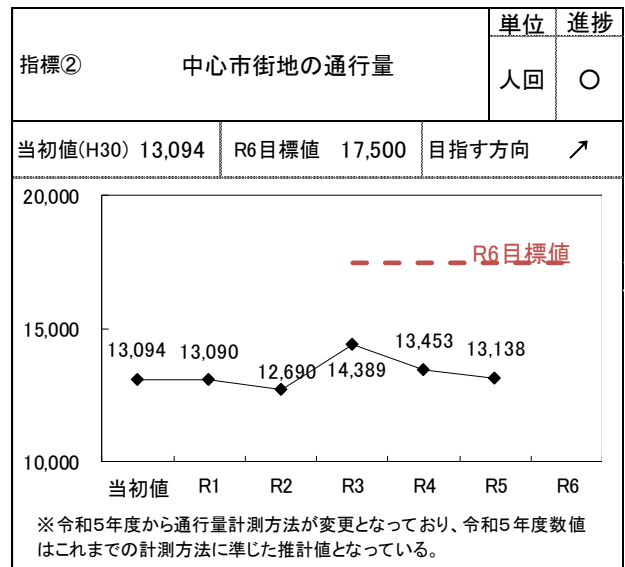
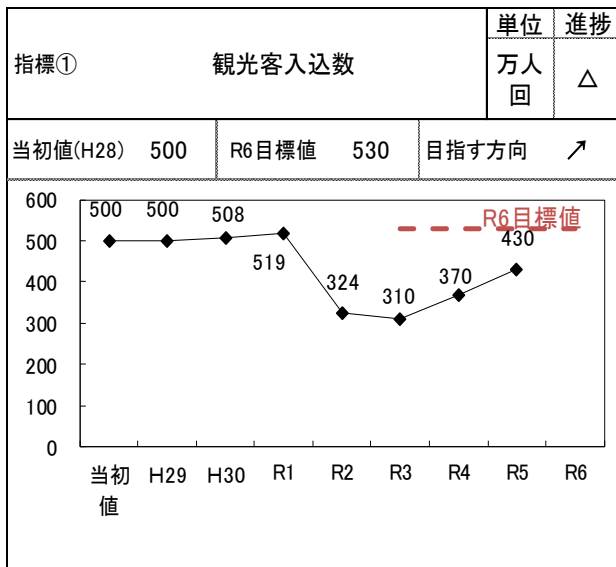
取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
コ ロ ナ か ら の V 字 回 復	1	スポーツ大会・合宿誘致事業 （合宿開催補助事業）	13	1,208	1,158	0
	2	地域おこし協力隊活用事業 （盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進）	13	4,440	4,310	0
	3	いわて盛岡ボールパーク管理運営事業	13	276,453	277,192	0
	4	盛岡地区かわまちづくり事業	14	1,000	1,000	0
	5	盛岡の食材プロモーション事業	21	3,151	3,151	0
	6	観光客誘致宣伝事業 （東北六市連携事業）	24	5,000	5,000	0

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
コ ロ ナ か ら の V 字 回 復	7	観光客誘致宣伝事業 (2023年に行くべき盛岡プロモーション・受入環境整備事業)	24	20,000	68,898	0
	8	観光団体育成強化事業 (盛岡伝統芸能常設公演事業)	24	3,870	3,870	0
	9	まつり・イベント振興事業 (盛岡さんさ踊り)	24	13,775	13,775	0
	10	まつり・イベント振興事業 (チャグチャグ馬コ行事)	24	6,422	6,422	0
	11	まつり・イベント振興事業 (盛岡秋まつり山車)	24	6,714	6,714	0
	12	まつり・イベント振興事業 (もりおか街なかイルミネーション事業)	24	10,000	10,000	0
	13	広域観光推進事業 (盛岡・八幡平広域観光推進協議会事業)	24	3,181	3,181	0
	14	MICE(マيس)誘致推進事業	24	13,000	6,400	0
	15	姉妹都市等国際交流事業	28	37,671	25,403	0
	16	友好都市等交流事業 (文京区友好都市提携5周年記念事業)	28	1,142	924	0
	17	芸術文化活動振興事業 (盛岡文士劇東京公演開催準備)	12	3,000	3,000	0
ポ ス ト コ ロ ナ の 交 流 ・ 新 展 開	18	芸術文化活動振興事業 (盛岡国際俳句大会)	12	6,386	6,386	0
	19	生涯スポーツ推進事業 (競技大会等開催事業(いわて盛岡シティマラソン))	13	35,000	35,000	0
	20	移住・定住・交流人口対策事業 (関係人口の創出・拡大等)	14	16,344	16,337	0
	21	観光客誘致宣伝事業 (デジタル観光周遊プロモーション事業)	24	3,000	3,000	0
	22	まつり・イベント振興事業 (全国高校生短歌大会)	24	4,275	4,275	0

取組の 方向性	No.	重点事業名	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
市民の 日常に 生まれる にぎわいの 創出	23	芸術文化活動振興事業 (もりおか市民文化祭事業)	12	1,036	932	0
	24	芸術文化活動振興事業 (芸術・伝統文化体験事業)	12	2,200	2,200	0
	25	スポーツ活動機会提供事業 (新生活様式における健康づくり及び経済振興 支援事業)	13	4,600	4,600	0
	26	内丸地区再整備事業 (内丸プラン作成業務)	16	20,000	19,756	0
	27	商店街等指導事業 (商店街等魅力強化支援事業)	22	90	60	0
	28	商店街活性化支援事業 (「映画の街盛岡」推進事業)	22	1,200	1,200	0
	29	商店街活性化支援事業 (商店街活性化支援事業)	22	650	494	0
	30	商店街活性化支援事業 (商店街情報発信事業)	22	300	352	0
	31	商店街活性化支援事業 (商店街イベント事業)	22	2,185	2,039	0
	32	タウンマネジメント機関支援事業	22	6,550	10,987	0
	33	地域おこし協力隊活用事業(中心市街地活性化)	22	4,800	4,795	0
	34	道の駅設置事業	24	43,917	309,964	304,089
	35	お城を中心としたまちづくり事業 (盛岡城跡公園芝生広場整備事業)	26	298	147	0
	36	市街地再開発事業 (中ノ橋通一丁目地区)	26	769,971	769,971	0
	37	動物公園整備事業	26	253,918	284,950	0
	38	まちなかウォーカブル推進事業	26	109	0	0

- ・ **観光客誘致宣伝事業（2023年に行くべき盛岡プロモーション・受入環境整備事業）**
補正予算により事業費を確保し、受入環境整備事業及びプロモーション事業を拡充して実施したことにより、実績額が大きくなりました。
- ・ **MICE（マイス）誘致推進事業**
助成金額根拠となる会議の参加人数が見込みよりも減少し、補助金を減額したことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ **姉妹都市等国際交流事業**
国際交流基金積立金について、当初予算において見込んでいた7,500千円の積立金（ふるさと納税分）が0円となったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ **商店街等指導事業（商店街等魅力強化支援事業）**
物価高騰の影響等から、研修の実績が少なくなったことにより、実績額が小さくなりました。
- ・ **タウンマネジメント機関支援事業**
補正予算によって、まちなか消費活性化補助事業を実施したことにより、実績額が大きくなりました。
- ・ **道の駅設置事業**
令和5年度国補正予算を編成することに伴い、令和6年度事業費の一部を令和5年度補正予算に計上し、令和6年度に繰り越していることにより、実績額が大きくなりました。
- ・ **お城を中心としたまちづくり事業（盛岡城跡公園芝生広場整備事業）**
盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会出席委員の報償費及び旅費については、委員の懇話会出席実績により実績額が小さくなりました。
- ・ **まちなかウォーカブル推進事業**
ウォーカブル先進地視察について、視察先との調整により、次年度に実施することになったため、実績がありませんでした。

■ 指標の状況



- ・ **観光客入込数／△ 遅れが生じている**

令和4年度と比較すると60万人の増加となりました。しかし、令和6年度の目標値である530万人到達には、更なる取組の推進が必要です。

- ・ **中心市街地の通行量／○ 目標値に向け推移**

令和4年度との比較では315人の減となりました。令和6年度の目標値である17,500人到達には、更なる取組の推進が必要です。

- ・ **都市機能誘導区域等の流動人口／△ 遅れが生じている**

令和4年度と比較すると8,168人の増加となり、新型コロナウイルス流行以前の令和元年度値まで回復してきました。令和6年度の目標値である80,000人到達には、更なる取組の推進が必要です。

■ 主な成果、課題、今後の取組

- ・ **コロナからのV字回復**

（成果）

令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び積極的な誘客宣伝活動を行うなど、観光客誘客に向けた取組を行っており、観光客の増加に結びついています。

チャグチャグ馬コ及び盛岡さんさ踊りなどの伝統行事や、まつりイベントの開催により、多くの観光客が本市を訪れ、街なかのにぎわい創出や、盛岡の魅力発信と再訪につながる取組を行っています。

各種イベント開催、大会・合宿誘致活動を行うなど、交流人口の増加に向けた取組を行っており、これらの参加者が、同時に観光客としての滞在につながっています。

盛岡地区かわまちづくり事業は、北上川、中津川の河川空間を活用することで、街なかのにぎわい創出や観光振興につなげる多くの取組を市民、地域団体、民間事業者、国、市が連携し実施しており、Park-PFI事業者による木伏緑地事業と、木伏緑地周辺のもりおか港を拠点に展開する舟運の取組によって、にぎわいのある河川空間が市民や観光客の間で定着しつつあり、観光客の増加要因となったと考えられます。

（課題）

国内外からの観光客の受入態勢の整備及び積極的な誘客宣伝活動の実施による、具体的な効果等の検証を行い、継続的な事業推進のための仕組みづくりが必要です。

チャグチャグ馬コなどの郷土伝統芸能の継続に向けて、行事の認知度の向上のほか、行事に関わる人員や後継者の確保、馬資源の確保の必要性など、クラウドファンディング等により周知を図っていますが、さらなる工夫を検討し、認知向上を図る必要があります。

河川資源を使用した取組のため、年間の運航できる回数が制限されることと、商業的な運航が制限されていることから、収益化が困難な状況です。

（今後の取組）

さらなる国内外からの観光客の受入態勢の整備及び海外への積極的な誘客宣伝活動を行い、本市固有の観光資源を活かした誘客促進や通年型観光を推進します。

まつり・イベント開催について、令和6年度の実施内容を検証した上で、効果的な集客方法や参加者・観覧者の安全対策などの検討を行い、持続可能な開催につなげます。

各種イベント開催や大会・合宿等の誘致に継続的に取り組み、交流人口（観光客）の増加を図ります。

舟運については、収支を含めた事業内容の見直しを検討し、事業を継続できるように事業実施主体を支援します。

・ ポストコロナの交流・新展開

（成果）

ニューヨーク・タイムズ紙効果により外国人観光客がコロナ禍以前の水準に回復しつつあることが、通行量の維持につながったと考えられます。

（課題）

ニューヨーク・タイムズ紙でも評価された魅力ある店舗は、小規模経営である場合も多く、その魅力が十分に発信されていない場合があると推察されます。

（今後の取組）

映画の街盛岡の推進にあたり、ゆかたのまち盛岡や商店街イベントなどと連携した取組を推進することで、中心市街地への新たな人の流れの創出を図ります。

市（いち）を起点とした街なかのにぎわい創出や、盛岡の食文化を盛り上げる取組につながるイベント開催等の支援を行います。

AIを活用した人流・交通分析システムのデータ利活用について、調査研究を推進します。

令和5年度に策定した第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプランに基づき、官民一体となった中心市街地の活性化を図ります。

MORIOペイや人流デ；タを活用した地域企業のマーケティングを支援する体制を構築するために、実績やノウハウを持つ民間事業者と連携した共同研究などを推進します。

・ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出

（成果）

物価高騰対応重点支援地方創生交付金を活用した消費喚起策を講ずることで、商店街等の活動が活発化したことに加え、商店街補助制度の見直しにより、既存のイベントに加え新たなイベントが開催されたことが、通行量の維持につながった要因の1つとして推察されます。

バスセンター開業に伴う公共交通の利便性向上と合わせ、中ノ橋通一丁目地区の市街地再開発により河南地区のエリア価値が向上しており、中心市街地活性化が見込まれています。

（課題）

物価高騰により落ち込んだ地域経済の活性化へ向けた取組を継続する必要があります。

来街者に各商店街を回遊させるような仕掛けが、十分にできていないと推察されることから、商店街への効果的な集客や商店街間の回遊、中心市街地内外での相互誘客を促進する必要があります。

中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業は、これまで資材高騰等の影響による建設費の増加に対して、組合の事業計画の見直し等によるコスト削減や、補助金以外の資金調達で対応してきましたが、自助努力では対応しきれない状況となっています。

内丸地区に立地する施設の老朽化や更新に対し、一体的な計画や調整する仕組みが不足していたことから、中心市街地の吸引力等が低下していると考えられます。

（今後の取組）

商店街向けの補助事業について、活用されていない商店街に働きかけを行います。

中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業東街区の整備により、バスセンターからmonakaをつなぐ居心地の良い連続した都市空間とすることにより、河南地区のにぎわい創出及び中心市街地活性化を目指します。

内丸地区の一体的な再整備の基本的な方向性（土地利用、交通、都市空間デザイン等）を内丸地区再整備検討懇話会、各施設関係者の実務者会議、学識会議等で検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ（仮称）内丸プランを取りまとめます。